

くにの松原キャンプ場に 2社から応募

12月定例会で特別委員会に付託された議案の審議内容（抜粋）

指定管理者の指定に関する

審査特別委員会

●大崎町くにの松原キャンプ場の指定管理者の指定

（関連する記事が2ページに掲載）

質 選定委員会では、アウトドアネットワーク㈱と(有)諸木造園土木の2社から申請内容の説明及び質疑応答を行い、選定委員全員で採点を行なったということであるが、審議内容について説明を求める。

答 選定委員会には、専門的な知識を有している鹿児島県キャンプ協会の会長など外部委員2名にも選定委員として加わっていた。2社ともに素晴らしい提案であった。

(有)諸木造園土木は、松林中での読書会であるとか星空観測会などの町民向けの提案が非常に多くて素晴らしい内容であった。

一方、アウトドアネットワーク㈱は、今までの22年間の実績に裏打ちされた観光客に向けたレジャーキャンプというような提案が多かった。

今後、ネット予約などは必須アイテムになってくると考えられる。アウトドアネットワーク㈱は既に構築されていて、ここに差が生じたと感じている。

質 現在グランピングが非常に流行ってきており、色んな所でキャンプ場の利用が高くなってきている。隣接の市町でもキャンプ場を整備しようとしている状況であるが、昨今のキャンプ場を取り巻く状況を把握しながら、適切な運営が出来るのか。



人気のあるバンガロー

反対討論…資料として提出された収支報告書や提案書の中に疑義が発生しており、その点について解決されるまでは反対である。

賛成討論…提出された資料の中に平成28年度から令和元年度までの利用者数が示されており、利用者数は右肩上がりが増加していることから、利用者は一定の評価をしていると考えられる。この状況を踏まえると、改善点は多いと思うが、選定された業者が良いと思う。

●大崎町益丸プールの指定管理者の指定
（関連する記事が2ページに掲載）

答 選定委員会の結果を受けて、適切な運営が出来るということとで推選している。推選した以上は大崎町の公共施設として人気を壊さないように、委託者としても打合せ等を通じて意思疎通をはかりながら、キャンプ場の施設目的にあった利用促進や維持管理に努めていく。